

国立大学法人
上越教育大学 学校教育学部
入学者選抜要項 2022

令和4年度入試(昨年度実施)のものを掲載しています。
令和5年度入試(今年度実施)のものは、7月上旬に公表予定です。

目 次

1	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
2	募集人員	3
3	入学者選抜方法	3
4	出願資格	3
5	大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	5
6	一般選抜	6
7	学校推薦型選抜	9
8	受験上又は修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談	11
9	学生募集要項の発表	11
10	学生募集要項等の入手方法	11
11	出願方法	13
12-1	令和4年度上越教育大学入学者選抜方法等 （一般選抜，専門学科・総合学科卒業生選抜，総合型選抜）	14
12-2	令和4年度上越教育大学入学者選抜方法等（特別選抜）	15
13	令和4年度上越教育大学入学者選抜の実施教科・科目等について	16
14	令和4年度特別選抜方法等（学校推薦型選抜）	17

入試関係日程一覧

入 試 方 法	出 願 期 間	試 験 日	合 格 者 の 発 表
学 校 推 薦 型 選 抜	令和3年12月3日(金) ～12月10日(金)	令和4年1月26日(水)	令和4年2月15日(火)
一 般 選 抜 (前 期 日 程)	令和4年1月24日(月) ～2月4日(金)	令和4年2月25日(金) ～2月26日(土)	令和4年3月9日(水)
一 般 選 抜 (後 期 日 程)		令和4年3月12日(土)	令和4年3月22日(火)
追 試 験 (前期日程, 後期日程)		令和4年3月22日(火)	令和4年3月26日(土)

インターネット出願について

本学の入学試験の出願方法は、「インターネット出願」です。

「紙出願」（募集要項に添付の入学志願票等に直接記入する方法）は行っておりません。
インターネット出願の詳細は、令和4年度学生募集要項に掲載しますので、ご覧ください。

令和4年度上越教育大学入学者選抜要項

1 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

上越教育大学では、「上越教育大学学校教育学部における卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針」を策定し、公表しています。

以下に、教育の理念・目的、学校教育学部の目標、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を示します。

1 教育の理念・目的

上越教育大学（以下「本学」という。）は、本学大学憲章に基づき、子供の未来を切り開くことのできる確かな実践力を備え、我が国の教育を担う中核的・指導的な教員の養成を目指している。

教員という職業は、豊かな人間性に支えられた専門職である。その専門性には、子供たちの学習と生活を支援でき、そして人類の築き上げた文化を全体として理解・把握する、つまり様々な学問分野の考え方を整理・統合し、人間の文化的営みを理解できる総合的な資質・能力が求められている。

そのため、本学では、「21世紀を生き抜くための能力（基礎力・思考力・実践力）」を身につけ、「人間力（優れた人格・豊かな感性・未来創造力）」を備え、さらに「教育実践力（豊かな教養・高度な専門的知識・優れた教育技術・使命感・創造力・人間愛）」及び「学び続ける力」を有する教員を養成する。

2 学校教育学部の目標

主として初等教育教員の養成に関する社会的要請に応えるべく、深い人間理解と豊かな学識及び優れた教育技術を備えた教員を養成する。

そのため、教員としての使命感や責任感を育むとともに、社会性や対人関係の力、子供を理解し学級を運営する力、人文科学・社会科学・自然科学・芸術・スポーツについてのバランスのとれた専門的能力とその指導力など、教員に必要な基本的資質と実践的な能力を養成する。

3 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 本学では、以下に掲げる学生を求めている。

ア 高等学校等における基礎的な知識・技能を十分に修得している。【知識・技能】

イ 物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。【思考力、判断力、表現力】

ウ 生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

エ 教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。【人間力】

(2) 以上の受入れの方針に基づいて、本学では、一般選抜（前期日程・後期日程）と学校推薦型選抜の三つの方法により、学力の3要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜する。

選抜区分	選抜方法	学力の3要素等			
		知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	人間力
一般選抜 （前期日程）	大学入学共通テスト	○	○		
	小論文		○		
	実技検査（音楽・美術・体育から選択）	○			
	集団面接 調査書			○ ○	○
一般選抜 （後期日程）	大学入学共通テスト	○	○		
	個別面接			○	○
	調査書			○	

学校推薦型 選抜	大学入学共通テスト	○	○		
	個別面接			○	○
	推薦書	○	○	○	
	自己推薦書			○	○
	調査書			○	

○：主な評価項目

※卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）は、本学ホームページ（<https://www.juen.ac.jp/050about/010info/policy/R03faculty.html>）をご覧ください。

2 募集人員

学 部	課 程	入学定員	募 集 人 員		備 考
学校教育学部	初等教育教員 養成課程	160人	前 期 日 程	77人	
			後 期 日 程	33人	
			学校推薦型選抜	50人	

(注) 2年次から、本人の希望と1年次の成績に基づいて、次のいずれかのコースに所属することになります。

学校教育専修 (160人)

学校教育実践コース，先端教科・領域学習コース，現代教育課題コース，
幼年教育コース，心理臨床コース，教科内容構成コース

3 入学者選抜方法

入学者の選抜は、次の方法により行います。

- ① 一般選抜（前期日程，後期日程）
- ② 学校推薦型選抜

4 出願資格

(1) 一般選抜

次のいずれかに該当し、かつ、令和4年度大学入学共通テスト（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））を受験した者です。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和4年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和4年3月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和4年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和4年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和4年3月修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したものの又は令和4年3月31日までに18歳に達するもの
【上記出願資格⑧により出願する場合は、事前に審査を行う必要があります。詳細については、7月下旬（予定）に本学のホームページ（<https://www.juen.ac.jp/>）で発表しますのでご確認ください。】

(2) 学校推薦型選抜

次のいずれかに該当し、かつ、令和4年度大学入学共通テスト（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））を受験する者です。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を令和2年4月から令和3年3月までに卒業した者又は令和4年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項及び第103条第1項等の規定に基づき、令和3年度の学年の途中において高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者を含む。）
- ② 高等専門学校第3学年を令和2年4月から令和3年3月までに修了した者又は令和4年3月修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和2年4月から令和3年3月までに修了した者又は令和4年3月31日までに修了見込みの者

5 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

一般選抜及び学校推薦型選抜に出願する者は、次に掲げる令和4年度大学入学共通テストの5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目）の受験を要します。

教科	科目及び科目選択方法	
国語	『国語』	
地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」, 「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 『倫理, 政治・経済』	から1 又は2科目 (注1)
公民		
理科	a: 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目 b: 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目 c: 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2科目 並びに「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目 d: 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目	a~dの いずれか 一つ
数学	「数学Ⅰ」, 『数学Ⅰ・数学A』から1科目 ----- 「数学Ⅱ」, 『数学Ⅱ・数学B」, 『簿記・会計」, 『情報関係基礎』から1科目	の計2科目
外国語	『英語』 (注5)	

(注1) 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

(注2) 「理科」でa又はbを選択する場合は、「地理歴史、公民」から2科目を選択してください。また、c又はdを選択する場合は、「地理歴史、公民」から1科目を選択してください。

(注3) 「地理歴史、公民」で1科目を選択し、「理科」でcを選択する場合は、理科において同一名称を付した出題科目（「物理基礎」と「物理」、 「化学基礎」と「化学」、 「生物基礎」と「生物」、 「地学基礎」と「地学」）の組合せを選択することはできません。ただし、「地理歴史、公民」で2科目を選択し、「理科」でcを選択する場合は、この限りではありません。この場合における本学の成績利用方法は、(注4) 2.のとおりです。

(注4) [地理歴史、公民から2科目]、[理科からc又はdにより3科目又は2科目]を受験した場合は、理科の科目選択方法に応じて、次の3科目（理科の基礎を付した科目（2科目の合計）を用いる場合は4科目）の成績を用います。

1. 理科cの科目選択方法で、「物理基礎、化学基礎」と「生物」など、異なる名称を付した出題科目を受験した場合。

ア [地理歴史、公民の第1解答科目]

イ [地理歴史、公民の第2解答科目]、[理科の基礎を付した科目]、[理科の基礎を付していない科目]のうち高得点の2科目（理科の基礎を付した科目を用いる場合は3科目）

2. 理科cの科目選択方法で、「物理基礎」と「物理」など、同一名称を付した出題科目を受験した場合。

ア [地理歴史、公民の第1解答科目]

イ [地理歴史、公民の第2解答科目]

ウ [理科の基礎を付した科目] 又は [理科の基礎を付していない科目] のどちらか高得点の科目

3. 理科dの科目選択方法で受験した場合。

ア [地理歴史、公民の第1解答科目]

イ [理科dで受験した科目の第1解答科目]

ウ [地理歴史、公民の第2解答科目] 又は [理科dで受験した科目の第2解答科目] のどちらか高得点の科目

(注5) 外国語の英語については、「リーディング」及び「リスニング」を課します。なお、大学入試センターにおいてリスニングを免除された者については、「リーディング」のみを課します。

6 一般選抜

(1) 前期日程

<入試方法>

① 大学入学共通テスト（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））及び実技検査等の成績並びに面接の評価結果を総合して、入学者を選抜します。

② 実技検査等は、次によるものとします。

ア 小論文

「思考力、判断力、表現力」を評価するため、小論文を課します。

【思考力、判断力、表現力】

物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。

イ 実技検査

「知識・技能」を評価するため、実技検査（音楽・美術・体育のうちから1科目を選択）を課します。

【知識・技能】

高等学校等における基礎的な知識・技能を十分に修得している。

音楽…音楽表現の基礎的能力と適性をみます。

美術…造形表現の基礎的能力と適性をみます。

体育…運動の基礎的能力と適性をみます。

③ 面接では、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、集団面接試験を行います。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。

【人間力】

教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。

④ 面接は、次によるものとします。

ア 面接形式は、受験者5人程度の集団面接とします。

イ 面接は、3人の面接担当者で行います。

ウ 個別質問、プレゼンテーション、集団討論を行います。

エ 面接は、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。

⑤ 大学入学共通テストと実技検査等の配点比率は、5：1とします。

配点内訳は、次のとおりです。なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入学共通テスト						実技検査等			面接	
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語 (英語)	計	小論文	実技		計
200	100又は200		100 又は200	200	200	900	90	90	180	段階評価とする

(注1) 外国語の英語については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)とします。

(注2) リスニングを免除された者については、リーディングの得点(100点満点)を200点満点に換算したものを英語の得点とします。

- ⑥ 実技検査等は、令和4年2月25日(金)に行い、面接は、令和4年2月26日(土)に行います。

(2) 後期日程

<入試方法>

- ① 大学入学共通テスト（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））の成績及び面接の評価結果を総合して、入学者を選抜します。
- ② 面接では、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、主に教職への強い関心・意欲と人間性を高めようとする意志に関して質問する個別面接試験を行います。
- 【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】**
生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。
- 【人間力】**
教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めようとする態度を備えている。
- ③ 面接は、次によるものとします。
- ア 面接形式は、個別面接とします。
- イ 面接は、3人の面接担当者で行います。
- ウ 面接は、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。
- ④ 大学入学共通テストの配点内訳と面接の評価は、次のとおりです。
なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入学共通テスト							面接
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語 (英語)	計	
200	100又は200	100 又は200	200	200	200	900	段階評価とする

(注1) 外国語の英語については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)とします。

(注2) リスニングを免除された者については、リーディングの得点(100点満点)を200点満点に換算したものを英語の得点とします。

- ⑤ 面接は、令和4年3月12日(土)に行います。

(3) 追試験(前期日程, 後期日程)

新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者への特例措置として、一般選抜(前期日程)及び一般選抜(後期日程)の追試験を行います。

<入試方法>

- ① 大学入学共通テスト（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））の成績及び面接の評価結果を総合して、入学者を選抜します。

- ② 面接では、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、主に教職への強い関心・意欲と人間性を高めようとする意志に関して質問する個別面接試験を行います。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。

【人間力】

教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。

- ③ 面接は、次によるものとします。
 ア 面接形式は、個別面接とします。
 イ 面接は、3人の面接担当者で行います。
 ウ 面接は、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。

- ④ 大学入学共通テストの配点内訳と面接の評価は、次のとおりです。
 なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入学共通テスト							面接
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語 (英語)	計	
200	100又は200		100 又は200	200	200	900	段階評価とする

(注1) 外国語の英語については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)とします。

(注2) リスニングを免除された者については、リーディングの得点(100点満点)を200点満点に換算したものを英語の得点とします。

- ⑤ 面接は、令和4年3月22日(火)に行います。

7 学校推薦型選抜

＜推薦要件＞

令和2年4月から令和3年3月までに高等学校等を卒業（修了）又は令和4年3月高等学校等を卒業（修了）見込みの者（「4 出願資格」参照）で、次の①から③までのすべてに該当し、かつ、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者です。

なお、各出身学校長が推薦できる人数の制限はありません。

- ① 出身学校長が、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等を有する者として、責任をもって推薦する者
- ② 令和4年度大学入学共通テスト（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））を受験する者
- ③ 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者
（注）上記の推薦要件に該当しない者については、出願書類を受理しません。

＜入試方法＞

① 出身学校長の推薦に基づき、面接及び令和4年度大学入学共通テスト（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））の成績により、入学者を選抜します。

② 面接では、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、高等学校等の段階での経験・活動実績を踏まえて総合的に質問します。

また、推薦書では「知識・技能」と「思考力、判断力、表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、自己推薦書では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価します。

【知識・技能】

高等学校等における基礎的な知識・技能を十分に修得している。

【思考力、判断力、表現力】

物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。

【人間力】

教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。

③ 面接は、次によるものとします。

ア 面接形式は、個別面接とします。

イ 面接は、3人の面接担当者で行います。

ウ 面接は、推薦書、自己推薦書の内容に加え、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。

④ 大学入学共通テストと面接の配点比率は、10：3とします。

配点内訳は、次のとおりです。なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入学共通テスト							面接
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語 (英語)	計	
200	100又は200		100 又は200	200	200	900	270

（注1）外国語の英語については、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点（200点満点）とします。

(注2) リスニングを免除された者については、リーディングの得点(100点満点)を200点満点に換算したものを英語の得点とします。

- ⑤ 合格者の判定は、全受験者を一括して行います。なお、面接の成績が配点の50%未満の場合には、合格者としません。
- ⑥ 面接は、令和4年1月26日(水)に行います。

<その他>

学校推薦型選抜に出願する者は、本学の一般選抜にも出願することができます。

8 受験上又は修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障害等があることにより、受験上又は修学上の配慮を必要とする場合は、次の期日までに本学に必ず申し出てください。

※ 受験上の配慮は必要としない場合でも、修学上の配慮を必要とする者は、必ず申し出てください。

- 学校推薦型選抜 … 令和3年11月5日(金)まで
- 一般選抜 … 令和3年11月26日(金)まで

9 学生募集要項の発表

一般選抜及び学校推薦型選抜についての出願期間、試験日程、試験場、出願手続、その他入学者選抜に必要な詳細事項は、令和3年11月上旬(予定)に「学生募集要項」により発表します。

10 学生募集要項等の入手方法

(1) 学生募集要項(PDF版)は、本学ホームページから閲覧・ダウンロードできます。(PDF版も冊子体も同じ内容です。)

大学案内は、本学ホームページでご覧いただけます。

なお、学生募集要項(入学志願票等は含みません。)又は大学案内の冊子体を希望する場合は、次の(2)、(3)、(4)のいずれかで請求してください。

(2) テレメールで請求する

① 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

上越教育大学のホームページから	https://www.juen.ac.jp/ の「資料請求」からアクセス	
テレメールのホームページから	https://telemail.jp	
自動音声応答電話の場合	IP電話 050-8601-0101 (24時間受付) ※ IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約12円です。	

② 請求を希望する資料請求番号(6桁)をプッシュ又は入力してください。

資料名	資料請求番号	料金 (送料含む)	発送開始日
大学案内	562702	180円	随時発送中
学生募集要項	582702	215円	11月上旬
学生募集要項 + 大学案内	542702	215円	11月上旬



③ あとはガイダンスに従ってください。

- ※注
- ・資料は通常、発送日からおおむね3～5日後でお届けできます。日曜や祝日をまたぐ場合はお届けが遅くなる場合があります。
 - ・また、地域や郵便事情によってはお届けに1週間程かかる場合があります。
 - ・なお、17時30分までの受付は当日発送、17時30分以降の受付は翌日発送となります。
 - ・発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。
 - ・随時発送の資料が1週間以上（予約受付の資料は発送開始日から1週間以上）経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。
 - ・資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
 - ・料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。
 - ・なお、支払い手数料が別途必要です（コンビニ払いは88円。スマホアプリの請求書支払い（LINE Pay, PayPay, au PAY）は88円。ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円。ゆうちょ銀行・郵便局での通常払込み（ATM・窓口）もご利用になれます。）。
 - ・また、ケータイ払い・コンビニ払い・クレジットカード払いは、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。
 - ・自動音声応答電話によるご請求の場合、住所、名前等の登録時は、ゆっくりはっきりとお話してください。登録された音声不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

■テレメールでの請求方法についてのお問い合わせは
 テレメールカスタマーセンター
 電話 050-8601-0102 (9:30～18:00)まで

(3) モバっちょで請求する

- ① 下記よりモバっちょにアクセスしてください。

上越教育大学のホームページから	https://www.juen.ac.jp/ の「資料請求」からアクセス	
モバっちょのホームページから	https://djc-mb.jp/juen3/	

- ② 料金は以下のとおりです。（※料金は変更となる場合があります。）

資料名	料金 (送料含む)	発送開始日
大学案内	250円	随時発送中
学生募集要項	250円	11月上旬
学生募集要項 + 大学案内	350円	11月上旬

- ※注
- ・お支払い時、資料毎に支払い手数料が必要です。（携帯・スマホ払い、クレジットカード決済は50円、コンビニ後払いは126円）

■モバっちょでの請求方法についてのお問い合わせは
 大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター
 電話 050-3540-5005 (平日10:00～18:00)まで

(4) 本学への直接請求

- 直接来学されるか、上越教育大学入試課 電話025-521-3294（平日9:00～17:00（夏季一斉休業（8月12日から8月16日まで）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）を除く。））までお問い合わせください。
 直接来学される場合は、本学入試課で配布しています。

11 出願方法

本学の入学試験の出願方法は、「インターネット出願」です。

「紙出願」（募集要項に添付の入学志願票等に直接記入する方法）は行っておりません。

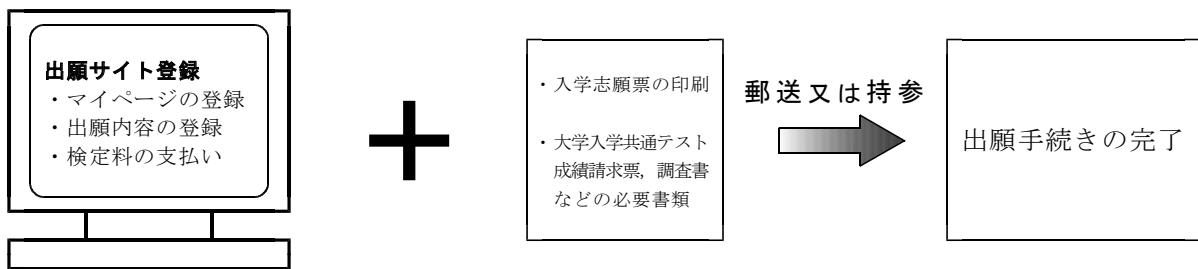
インターネット出願では、学生募集要項（冊子体）の取り寄せが不要（pdfで公開します）となり、Web入力に際してエラーチェック機能により願書の記入誤りが防げます。また、検定料の支払方法としてコンビニエンスストアやクレジットカード等の利用が可能です。

ご利用にあたってはメールアドレス・パソコン（インターネット接続済）・プリンター（A4出力）が必要です。

インターネット出願において、必要事項の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続き完了ではありません。出願に必要な書類を郵送する必要があります。出願書類の提出期限（必着）をよく確認し、郵送に要する日数を考慮したうえで期限に間に合うよう手続きしてください。

なお、事情によりインターネットを利用することができない方は、本学入試課へご連絡ください。

<インターネット出願の流れ>



出願前に必要書類の事前準備をお願いします。（調査書等）

- ・大学入学共通テスト成績請求票
- ・調査書
- ・顔写真データ（ファイル形式（jpg, png, gif, bmp））
- ・推薦書（学校推薦型選抜のみ）
- ・自己推薦書（学校推薦型選抜のみ）

① インターネット出願サイトへアクセス

本学入試情報ホームページ

→ <https://www.juen.ac.jp/060admissions/020faculty/index.html> または、

インターネット出願サイト

→ <https://e-apply.jp/ds/juen/> からアクセス

※ 「インターネット出願登録期間」以外は出願登録はできません。

② 出願期間

	インターネット出願登録期間 及び検定料支払期間	出願書類提出期限
学校推薦型選抜	令和3年12月3日（金）10時から 令和3年12月10日（金）15時まで	令和3年12月10日（金）17時必着
一般選抜 （前期日程） （後期日程）	令和4年1月24日（月）10時から 令和4年2月4日（金）15時まで	令和4年2月4日（金）17時必着

詳細については、学生募集要項（11月上旬発表予定、本学ホームページに掲載）でご確認ください。

令和4年度上越教育大学入学者選抜方法等(特別選抜)

選 抜 方法等	学 校 推 薦 型 選 抜								私 費 外 国 人 留 学 生 の 入 試	帰国生徒選抜・ 社会人選抜			そ の 他 の 入 試	備 考
	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し推薦書、自己推薦書、調査書(参考資料とする)を主な資料として判定する							学校推薦型 選抜 募集人員		帰 国 生 徒	中 国 引 揚 者 等 生 徒	社 会 人		
	個別学力 検査を免 除し、大 学入学共 通テスト を課する		個別学力 検査及び 大学入学 共通テストを免除 する		実 技 検 査 等									
学部・ 学科名	実技検査を課する	面接を 行う	小論文 を課す る	外国語 におけるリス ニングを課す る	その他									
学 校 教 育 学 部 ・ 初 等 教 育 教 員 養 成 課 程	○	×	×	○	×	×	×	50人	×	×	×	×	×	

令和4年度上越教育大学入学選抜の実施教科・科目等について

学部・学科等名 及び入学定員等 (令和3年度 志願倍率)	学力検査等の 区分・ 日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名										個別学力検査等の 配点等					特別の 選抜方 法等										
		科目及び科目選択方法										教科等	科目名等 2段階 選抜	試験の区分	国語	地理 歴史		公民	数学	理科	外国語 (英語)	小論文	実技 検査	面接	配点 合計		
		教科	国語	歴史	地理	公民	物理	化学	生物	地学	英語																
学校教育学部 初等教育教員 養成課程 前期 77 後期 33 その他 50 〔5.0〕	前期 2月25日 ～ 2月26日	『国語』 『世界史A』、『世界史B』、『日本史A』, 『日本史B』、『地理A』、『地理B』, 『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』, 『倫理・政治・経済』 から1 又は2科目 (注1) 理科で a又はcを 選択する場合 は4科目 b又はdを 選択する場合 は3科目 a～dの いずれか 一つ (注2)(注3)(注4) 『数学I』、『数学A』から1科目 『数学II』、『数学II・数学B』、『簿記・会計』, 『情報関係基礎』から1科目 の計2科目 『英語』(注5)										その他 小論文 実技検査 (音楽, 美術, 体育 から1) 面接	共通テスト 200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	90	90	◎	900	学校推 薦型選 抜
	後期 3月12日	『英語』(注5)										その他 面接	共通テスト 200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	900	追加合 格			

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(注1) 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 (注2) 「理科」でa又はbを選択する場合は、「地理歴史、公民」から2科目を選択してください。また、c又はdを選択する場合は、「地理歴史、公民」から1科目を選択してください。
 (注3) 「地理歴史、公民」で1科目を選択し、「理科」でcを選択する場合は、理科において同一名称を付した出題科目（「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」）の組合せを選択することはできません。ただし、「地理歴史、公民」で2科目を選択し、「理科」でcを選択する場合は、この限りではありません。この場合における本学の成績利用方法は、(注4) 2.のとおりです。
 (注4) 「地理歴史、公民」から2科目、「理科」からc又はdにより3科目又は2科目を受験した場合は、理科の科目選択方法に於いて、次の3科目（理科の基礎を付した科目（2科目の合計）を用いる場合は4科目）の成績を用います。
 1. 理科cの科目選択方法で、「物理基礎、化学基礎」と「生物」など、異なる名称を付した出題科目を受験した場合。
 ア [地理歴史、公民の第1解答科目]
 イ [地理歴史、公民の第2解答科目]、[理科の基礎を付した科目]、[理科の基礎を付していない科目]のうち高得点の2科目（理科の基礎を付した科目を用いる場合は3科目）
 2. 理科cの科目選択方法で、「物理基礎」と「物理」など、同一名称を付した出題科目を受験した場合。
 ア [地理歴史、公民の第1解答科目]
 イ [地理歴史、公民の第2解答科目]
 ウ [理科の基礎を付した科目]又は[理科の基礎を付していない科目]のどちらか高得点の科目
 3. 理科dの科目選択方法で受験した場合。
 ア [地理歴史、公民の第1解答科目]
 イ [地理歴史、公民の第2解答科目]又は[理科dで受験した科目の第2解答科目]のどちらか高得点の科目
 ウ [地理歴史、公民の第2解答科目]又は[理科dで受験した科目]のどちらか高得点の科目

(注5) 外国語の英語については、「リーディング」及び「リスニング」を課します。なお、大学入試センターにおいてリスニングを免除された者については、「リーディング」のみを課します。

【個別学力検査等】欄

前期日程の実技検査は、音楽、美術、体育のうちから1科目を選択してください。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

- ①配点に*印を付したある教科は、選択教科を表します。
- ②地理歴史、公民及び物理の配点は、合計300点とします。
- ③外国語の英語については、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点（200点満点）とします。
- ④リスニングを免除された者については、リーディングの得点（100点満点）を200点満点に換算したものを英語の得点とします。
- ⑤前期日程及び後期日程における個別学力検査等の面接（◎）は、段階評価とします。

※ 新型コロナウイルス感染症等に罹患した入学志願者への特例措置として、一般選抜の追試験（前期日程、後期日程）を令和4年3月22日（火）に行います。
 なお、大学入学共通テスト（5教科7科目又は6教科7科目）を基礎を付した科目（理科）を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目）の成績及び面接（段階評価）を総合して、入学者を選抜します。

実施学部・学科名	学校教育学部 初等教育教員養成課程																							
募集人員	50人																							
出願要件	<p>令和2年4月から令和3年3月までに高等学校等を卒業(修了)又は令和4年3月高等学校等を卒業(修了)見込みの者(「4 出願資格」参照)で、次の①から③までのすべてに該当し、かつ、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者です。なお、各出身学校長が推薦できる人数の制限はありません。</p> <p>① 出身学校長が、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等を有する者として、責任をもって推薦する者</p> <p>② 令和4年度大学入学共通テスト(5教科7科目又は6教科7科目(理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目))を受験する者</p> <p>③ 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>※ 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目</p> <table border="1"> <tr> <th>教科</th> <th>科目及び科目選択方法</th> </tr> <tr> <td>国語</td> <td>『国語』</td> </tr> <tr> <td>地理歴史 公民</td> <td>『世界史A』,『世界史B』,『日本史A』, 『日本史B』,『地理A』,『地理B』, 『現代社会』,『倫理』,『政治・経済』,『倫理,政治・経済』</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>a:『物理基礎』,『化学基礎』,『生物基礎』,『地学基礎』から2科目 b:『物理』,『化学』,『生物』,『地学』から1科目 c:『物理基礎』,『化学基礎』,『生物基礎』,『地学基礎』から2科目並びに『物理』,『化学』,『生物』,『地学』から1科目 d:『物理』,『化学』,『生物』,『地学』から2科目</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>『数学Ⅰ』,『数学Ⅰ・数学A』から1科目 『数学Ⅱ』,『数学Ⅱ・数学B』,『簿記・会計』, 『情報関係基礎』から1科目</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>『英語』(注5)</td> </tr> </table> <p>(注1) 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。</p> <p>(注2) 「理科」でa又はbを選択する場合は、「地理歴史、公民」から2科目を選択してください。また、c又はdを選択する場合は、「地理歴史、公民」から1科目を選択してください。</p> <p>(注3) 「地理歴史、公民」で1科目を選択し、「理科」でcを選択する場合は、「理科」において同一名称を付した出題科目(『物理基礎』と『物理』,『化学基礎』と『化学』,『生物基礎』と『生物』,『地学基礎』と『地学』)の組合せを選択することはできません。ただし、「地理歴史、公民」で2科目を選択し、「理科」でcを選択する場合は、この限りではありません。この場合における本学の成績利用方法は、(注4) 2. のとおりです。</p> <p>(注4) [地理歴史、公民から2科目]、[理科からc又はdにより3科目又は2科目]を受験した場合は、理科の科目選択方法に応じて、次の3科目(理科の基礎を付した科目(2科目の合計)を用いる場合は4科目)の成績を用います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 理科cの科目選択方法で、「物理基礎、化学基礎」と「生物」など、異なる名称を付した出題科目を受験した場合。 <ul style="list-style-type: none"> ア [地理歴史、公民の第1解答科目] イ [地理歴史、公民の第2解答科目]、[理科の基礎を付した科目]、[理科の基礎を付していない科目]のうち高得点の2科目(理科の基礎を付した科目を用いる場合は3科目) 理科cの科目選択方法で、「物理基礎」と「物理」など、同一名称を付した出題科目を受験した場合。 <ul style="list-style-type: none"> ア [地理歴史、公民の第1解答科目] イ [地理歴史、公民の第2解答科目] ウ [理科の基礎を付した科目]又は[理科の基礎を付していない科目]のどちらか高得点の科目 理科dの科目選択方法で受験した場合。 <ul style="list-style-type: none"> ア [地理歴史、公民の第1解答科目] イ [理科dで受験した科目の第1解答科目] ウ [地理歴史、公民の第2解答科目]又は[理科dで受験した科目の第2解答科目]のどちらか高得点の科目 <p>(注5) 外国語の英語については、「リーディング」及び「リスニング」を課します。なお、大学入試センターにおいてリスニングを免除された者については、「リーディング」のみを課します。</p>	教科	科目及び科目選択方法	国語	『国語』	地理歴史 公民	『世界史A』,『世界史B』,『日本史A』, 『日本史B』,『地理A』,『地理B』, 『現代社会』,『倫理』,『政治・経済』,『倫理,政治・経済』	理科	a:『物理基礎』,『化学基礎』,『生物基礎』,『地学基礎』から2科目 b:『物理』,『化学』,『生物』,『地学』から1科目 c:『物理基礎』,『化学基礎』,『生物基礎』,『地学基礎』から2科目並びに『物理』,『化学』,『生物』,『地学』から1科目 d:『物理』,『化学』,『生物』,『地学』から2科目	数学	『数学Ⅰ』,『数学Ⅰ・数学A』から1科目 『数学Ⅱ』,『数学Ⅱ・数学B』,『簿記・会計』, 『情報関係基礎』から1科目	外国語	『英語』(注5)											
教科	科目及び科目選択方法																							
国語	『国語』																							
地理歴史 公民	『世界史A』,『世界史B』,『日本史A』, 『日本史B』,『地理A』,『地理B』, 『現代社会』,『倫理』,『政治・経済』,『倫理,政治・経済』																							
理科	a:『物理基礎』,『化学基礎』,『生物基礎』,『地学基礎』から2科目 b:『物理』,『化学』,『生物』,『地学』から1科目 c:『物理基礎』,『化学基礎』,『生物基礎』,『地学基礎』から2科目並びに『物理』,『化学』,『生物』,『地学』から1科目 d:『物理』,『化学』,『生物』,『地学』から2科目																							
数学	『数学Ⅰ』,『数学Ⅰ・数学A』から1科目 『数学Ⅱ』,『数学Ⅱ・数学B』,『簿記・会計』, 『情報関係基礎』から1科目																							
外国語	『英語』(注5)																							
入試方法等	<p>(1) 出身学校長の推薦に基づき、面接及び大学入学共通テスト(5教科7科目又は6教科7科目(理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目))の成績により、入学者を選抜します。</p> <p>(2) 面接では、特に「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、高等学校等の段階での経験・活動実績を踏まえて総合的に質問します。</p> <p>また、推薦書では「知識・技能」と「思考力、判断力、表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、自己推薦書では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価します。</p> <p>(3) 面接は、次によるものとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 面接形式は、個別面接とします。 イ 面接は、3人の面接担当者で行います。 ウ 面接は、推薦書、自己推薦書の内容に加え、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。 <p>(4) 大学入学共通テストと面接の配点比率は、10:3とします。</p> <p>配点内訳は、次のとおりです。なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="7">大学入学共通テスト</th> <th rowspan="2">面接</th> </tr> <tr> <th>国語</th> <th>地理歴史</th> <th>公民</th> <th>理科</th> <th>数学</th> <th>外国語(英語)</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>200</td> <td>100又は200</td> <td>100又は200</td> <td>100又は200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>900</td> <td>270</td> </tr> </table> <p>(注1) 外国語の英語については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)とします。</p> <p>(注2) リスニングを免除された者については、リーディングの得点(100点満点)を200点満点に換算したものを英語の得点とします。</p> <p>(5) 合格者の判定は、全受験者を一括して行います。なお、面接の成績が配点の50%未満の場合には、合格者としません。</p>	大学入学共通テスト							面接	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語(英語)	計	200	100又は200	100又は200	100又は200	200	200	900	270
大学入学共通テスト							面接																	
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語(英語)	計																		
200	100又は200	100又は200	100又は200	200	200	900	270																	
出願期間	令和3年12月3日(金)～令和3年12月10日(金)																							
入試期日	令和4年1月26日(水)																							
合格発表日	令和4年2月15日(火)																							
その他	学校推薦型選抜に出願する者は、本学の一般選抜にも出願することができます。																							



2022

入学者選抜要項

令和3年7月発行

編集発行 ■ 上越教育大学入試課

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

tel.025-521-3294

<https://www.juen.ac.jp/>

